

【お申込み方法について】

別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAX 又はメール(PDF)にて、お送りください。
事務局より、FAX にて「受付連絡票」を送信いたしますので、受け取られた後、講習会費をお振込みください。 お申込み先、及び、お振込み先は以下の通りです。

〔お申込み先〕 日本化粧品技術者会 大阪支部 事務局
〒541-0045 大阪市中央区道修町 1-7-11 岩瀬コスファ(株)内
TEL:06-6231-3459 / FAX:06-6231-5769
E-mail: osaka@sccj-ifsc.com

〔お振込み先〕 三井住友銀行 大阪中央支店 普通 No.145680
日本化粧品技術者会 大阪支部 会計
安藤 芳彦 (アンドウ ヨシヒコ)
(お振り込み手数料は各社にて、ご負担ください。)

お申込み締切 : 11月6日(月)

講習会費お振込 : 11月17日(金) 「受付連絡票」をお受け取り後に、お振込みください。

※ なお、講習会費の入金を確認後、受講券と領収書を郵送にて、お送りいたしますので、各種期日は厳守してください。
受講券は、当日受付にてご提示いただきます。必ずお持ちください。

【お申込記入時のお願い】

本講習会は実務者(特に微生物試験担当者)を対象として、日ごろの疑問点、お悩みの点について、解決していただけるように企画しております。本講習会を有益なものにするため、参加者の皆さまには「講師に聞きたいこと、日ごろの疑問点」をご記入していただきますよう、ご協力をお願いいたします。また、お申込み後、参加者へご連絡することもございますため、必ずメールアドレスの記載をお願いいたします。

【キャンセルについて】

お申込み後、キャンセルをされる場合は、**11月22日(水)**必着で、受講券・領収書を事務局へご返送ください。講習会費をご返金いたします。(振込手数料は各社ご負担となります。)

ご連絡をいただきましても、11月22日(水)までに受講券・領収書が事務局に届かなかった場合、或いは11月22日(水)以降にお申し出があった場合は、ご返金をいたし兼ねますので、予めご了承ください。

【お問合せ先】

日本化粧品技術者会 大阪支部 事務局
担当: 川戸、南浮(なんぷ)
TEL: 06-6231-3459 / FAX: 06-6231-5769 / E-mail: osaka@sccj-ifsc.com

以上

第1回 化粧品技術専門講習会 微生物実践講座 参加申込書

日本化粧品技術者会 大阪支部 事務局宛 (FAX : 06-6231-5769)

2017年 月 日

	フリガナ	メールアドレス	受付番号 (事務局 記入)
	受講者氏名		
1			
2			

講師に聞きたいこと、日ごろの疑問点

- ※ 申込後、ご連絡する場合がございますので、必ず受講者全員のメールアドレスをご記入ください。
また、日ごろの疑問点やお悩みの点を解決できるような講義を目指しておりますので、
「講師に聞きたいこと、日ごろの疑問点」をご記入していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

【申込担当者】

会社名			
ご担当者氏名			
住所	〒		
TEL		返信先 FAX	
E-Mail			
参加費合計	¥	振込予定日	月 日

- ※ お申込み受付のご連絡といたしまして、後日事務局より「受付連絡票」を送信いたしますので、返信 FAX 番号を必ずご記入ください。
- ※ 講習会費につきましては、事務局からの返信 FAX を受け取られてからのお振込みで、お願いいたします。
- ※ 受講券は、講習会費の入金確認後に人数分を、ご担当者様に郵送にて、お送りいたします。
締め切りを過ぎますと、受講券が間に合わない場合がございますので、恐れ入りますが、講習会費のお振込みは、11月17日(金) 厳守でお願い申し上げます。

<受付連絡票> (以下、事務局記入欄)

第1回 化粧品技術専門講習会 微生物実践講座 プログラム

～実務担当者向け 化粧品の微生物汚染対策 実践講座～

2017年12月1日(金)

大阪国際会議場(グランキューブ) 特別会議室

講師: 微生物技術アドバイザー 浅賀良雄先生

開始時間	講義内容
12:45	開会のあいさつ
12:50	<p>1. 防腐設計と保存効力試験(二次汚染対策)</p> <ul style="list-style-type: none">■ 最適な防腐力設計のための防腐剤の挙動について■ 再現性の高い保存効力試験操作の詳しい方法について■ 防腐力設計のための防腐性の客観的評価方法(判定基準について)■ 配合成分から見た最適な防腐剤選択のための事例紹介■ パラベンフリー・防腐剤フリー商品開発の実践技術と処方例 <p>2. 製造環境管理(一次汚染対策)</p> <ul style="list-style-type: none">■ 汚染防止のための工程管理■ 製造水の管理ポイントと具体的な実施例■ 工程検査の具体的な事例と汚染菌事故の原因追究方法
14:15	休憩(10分)
14:25	<p>3. 出荷前の微生物試験(品質管理)</p> <ul style="list-style-type: none">■ 薬機法順守で生産出荷するための「特定菌検査試験法」■ 現場で役立つ、検出菌の簡易同定・特定菌確認の推奨■ 出荷前検査試料のサンプリングの妥当性を検証する具体的な進め方と実施例 <p>4. 市場でのトラブル・クレーム対応(品質管理・処方設計)</p> <ul style="list-style-type: none">■ 実際にクレーム事故が発生した場合の実務対応の事例紹介■ 低濃度汚染の検出による回収事故防止対策■ いろいろな環境汚染菌と特定菌の識別
15:40	休憩(10分)
15:50	<p>5. オープンディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none">■ よくある質問とその回答■ 事前質問に対する回答と解説
16:50	閉会